

6月22日～25日

Kramsach ▶ Azumino

クラムザッハ訪日団の来訪に合わせ、姉妹都市提携30周年記念式典を開きました。式典には駐日オーストリア大使のエリザベート・ベルタニョーリさんも参加し、友好を深めました。また、市地域通訳案内士のガイドで安曇野の自然や文化を紹介。豊科高校書道部による書道パフォーマンスで日本の文化に触れました。



9月27日～29日

Azumino ▶ Kramsach

クラムザッハへ訪問。クラムザッハ役場前での歓迎式や記念植樹などを行い友好を深めました。



MESSAGE

安曇野市とクラムザッハの姉妹都市交流の30年間は安曇野・クラムザッハ友好会と一緒に歩んできました。今後ともに手を取り合い、交流を進めていくためクラムザッハとしてできる支援をしていきます。皆さんぜひクラムザッハへお越しください。



クラムザッハ町
町長 アンドレアス・ガンクさん



特集 クラムザッハ・安曇野 絆 交流30年間の

姉 妹都市・オーストリア共和国チロル州クラムザッハ町とは本年10月、姉妹都市提携30周年を迎えました。この節目に合わせて、6月にクラムザッハからアンドレアス・ガンク町長をはじめとする15人の訪日団が市を訪れ、9月には太田市長はじめ6人がクラムザッハを公式訪問。相互の行き来を通じてこれまでの歩みを祝い、今後の交流・友好について意見を交わしました。

この交流は、昭和60年に旧豊科町にあづみ野ガラス工房が開設したことをきっかけに町民がクラムザッハのガラス専門学校を訪問したことから始まりました。クラムザッハと安曇野は言語や文化は異なるものの、雄大なアルプスと豊かな自然が織りなす景観が似ていることも長く交流が続いている理由の一つです。

今回の交流で今後、安曇野市、クラムザッハともに「将来を担う若者たちの交流」をより活発にしていく方針で一致しました。例えば、交流のきっかけとなったガラス専門学校を中心とした交流の可能性など若者がお互いの文化により深く触れる機会の創出について検討していきます。

今月号では、本年度の相互交流の様子と30年にわたる友好のあゆみを集めます。

INTERVIEW 30年受け継がれた交流を大切に 次の世代に受け継ぐ



民族を越えた世界の友人との交流が長く続き嬉しく思います。クラムザッハには何回訪れてもほっとする不思議な魅力があります。これは安曇野の風景や暮らしと似ているからだと思います。訪問時にはきっかけとなったガラス専門学校には必ず訪れており、学生

安曇野・クラムザッハ友好会
会長 花村 薫さん

があづみ野ガラス工房に留学するなど現在も交流の軸になっています。このように、この30年間の交流で大切に受け継がれてきた成果を生かし、今後は若い世代の交流をプログラムの1つとして取り組みたいと考えています。交流を通じて若い感性で新たなことが交流の活性化につながっていくことを期待しています。

オーストリア共和国 クラムザッハ(Kramsach)ってどんな町？

オーストリア西部のチロル州にあり、首都のウィーンから450km、州都のインスブルックからは約50kmの場所にある人口約5000人の町です。雄大なアルプスの山々とカウベルの音が谷間に響きわたる豊かな草原が広がり、家々の窓に飾られた色とりどりの花々と相まって、まるで絵画のようなロマンチックな風景に出会えます。冬はスキー・スケート・クロスカントリー、夏はカヌー・ハイキングなどのアウトドアレジャーが盛んです。また、こ

の地方独特の伝統ガラス工芸も有名で、第2次世界大戦後、ドイツ系ガラス職人たちが来たことでさらに発展しました。オーストリアで唯一のガラス専門学校が設立され、豊科出身の卒業生もいます。

